

公表資料

平成24年度補助金見直し結果

No.1	課名	政策推進課	補助金名称	別府市生活バス路線維持費補助金	
自己評価	継続	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
			8,000	8,000	0
最終評価	評価内容				
継続	過疎地域の住民の唯一の交通手段となっていることから、公益性が高く継続が適切と考えられるが、必要最小限の補助となるよう補助事業者に対して運行の効率化を促すなど、対象路線における採算性の向上を図られたい。				
取組内容の進捗状況					
平成24年度は、「別府市生活交通確保維持協議会」を設置し、市街地の路線バス利用実態調査を実施した。今後、同協議会において路線バスの採算性向上について検討する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
郊外の路線バスの採算性を向上するためには、バス事業者の経営努力と地元住民の利用促進が必要だが、便数が少なく燃料費高騰の影響を受けやすい。バス経営は、コストに占める人件費の割合が高い労働集約型のため、コスト削減に限界がある。					
No.2	課名	自治振興課	補助金名称	別府市自治委員事務費助成金	
自己評価	継続	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
			16,248	16,291	▲ 43
最終評価	評価内容				
継続	自己評価のとおり、現在円滑に推移している町内がほとんどであることから当面継続が妥当と考えられるが、検討・改善の余地があることから、自治委員地区運営費助成金、自治委員会運営費助成金の見直しとともに改善を検討されたい。				
取組内容の進捗状況					
現行の「別府市自治委員事務費助成金（活動費助成金に改称）」「別府市自治委員地区運営費助成金」を統合し、「別府市自治委員事務費助成金」に一本化した。また、交付目的や対象者の明確化を行い、地区運営費助成金に関しては収支報告書の提出を義務付けるよう、要綱の改正を行なった。今後、自治委員に対し、改正点について理解を求めていく。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
自治委員は業務が非常に多岐にわたっており、かつ行政と市民を繋ぐ重要な役割を担っているため、今後も見直しを進める際は、自治委員会役員等と協議しつつ進めていきたいと考えている。					
No.3	課名	自治振興課	補助金名称	別府市自治委員地区運営費助成金	
自己評価	改善	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
			725	725	0
最終評価	評価内容				
改善	交付目的や対象者の明確化など現行の交付方法を見直し、適正な執行を図られたい。				
取組内容の進捗状況					
「別府市自治委員事務費助成金交付要綱」を改正し、交付目的や対象者を明確にした。地区ごとに収支報告書の提出を義務付けるようにし、助成金の適正な執行がされているか確認するように改めた。地区運営費助成金を事務費助成金の一種と明確に位置づけ、事務費助成金（活動費助成金に改称）と一本化した。助成金の適正な執行がされているかを確認する目的のほか、助成金をより効果的に使用方法を地区で考えるきっかけにしてもらいたいという希望もあり、地区ごとに収支報告書の提出を義務付けるようにした。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
市の業務を依頼する上で、事務の簡素化のため地区の代表（支部長、副支部長）を経由し、各自治委員に依頼、周知する方式をとることが多い。また、広範多岐にわたる自治委員業務をこなす上で自治委員同士の横の結びつきを維持するため、地区単位の自治委員活動は重要であると考えている。					

No.4	課名	自治振興課	補助金名称	別府市自治委員会運営費助成金	
自己評価	改善	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
			1,590	1,607	▲ 17
最終評価	評価内容				
改善	補助対象となっている経費が、自治委員会役員に支給する運営費助成金と大分県自治会連合会の負担金であり補助金本来の目的と合致しているか検討のうえ、適切に執行されたい。				
取組内容の進捗状況					
<p>補助金本来の目的と自治委員会の存在意義、活動内容、市から自治委員への依頼業務の質・量等を再考した結果、現状維持することが妥当と判断した。</p> <p>今後も改善すべき点等について、自治委員会の役員等の意見を聴きながら協議を続けていく。</p> <p>補助対象となっている役員への運営費助成金については、新たに作成した内規に従って適正に執行していくようにした。</p> <p>役員より市からの依頼業務が年々増加しているとの指摘があり、業務の見直しを求められているので、今後は業務と助成金等のバランスについても検討していく。</p>					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
市の業務を依頼する上で別府市自治委員会の組織を活用し、三役、支部長、理事等役員を順に経て各自治委員に下ろし、市民に行き渡らせるという方法を用いている。自治委員会は任意団体であるが、その活動の大半は市の依頼事務を遂行することに充てられているため、助成金については今後も継続すべきと考えている。					
No.5	課名	自治振興課	補助金名称	別府市交通安全指導員実技研修補助金	
自己評価	継続	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
			50	100	▲ 50
最終評価	評価内容				
廃止	児童・生徒の交通事故防止を目的とした街頭活動など交通安全の推進に貢献している交通安全指導員は、地域において必要不可欠で、人材育成の観点から本補助金の必要性は認められるが、自己評価に示されているとおり、使途が目的に適合していないため廃止し、人材を確保し、育成を図るための処遇改善策を検討されたい。				
取組内容の進捗状況					
「別府市交通安全指導員実技研修補助金」を廃止し、「別府市交通安全指導員会補助金」を新設した。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
交通安全指導員は、児童の安全確保には必要な人材であり、ボランティア的要素が強いため、実技研修費に限定しないで、指導員会の運営全体で使える補助金に変更した。					
No.6	課名	自治振興課	補助金名称	別府市交通安全対策協議会補助金	
自己評価	継続	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
			5,060	5,360	▲ 300
最終評価	評価内容				
改善	補助対象経費や補助の基準を明確にするとともに、適切な執行方法を検討されたい。				
取組内容の進捗状況					
交通安全対策協議会から交通安全協会への分担金(500万円)については、対象経費・基準・交付方法等について明確にするため補助金交付要綱を制定し、平成25年度より、市からの補助金(大分県交通安全協会別府支部補助金)に変更するよう事務を進めている。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					

No.7	課名	自治振興課	補助金名称	別府市暴力絶滅対策協議会補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		76	76	0	
最終評価	評価内容				
継続	継続は妥当と考えるが、協議会の資金繰りや事務の流れを見直すとともに、平成23年9月1日に施行された別府市暴力団排除条例の目的や基本理念に沿った活動内容になっているかを精査されたい。				
取組内容の進捗状況					
活動内容については、暴力団排除条例の啓発などに努めている。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
事務局を持っている自治振興課のスケジュールから例年7月くらいに総会を開催しており、総会の承認後、会費の納入を依頼しているため、4月から7月までの資金を繰り越す必要がある。					
No.8	課名	自治振興課	補助金名称	別府市防犯協会連合会補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		2,085	2,085	0	
最終評価	評価内容				
継続	防犯の観点から欠かせない事業であるため、継続が妥当と考えるが、対象事業費の精査を行い必要最小限の助成をされたい。				
取組内容の進捗状況					
啓発事業等については、実施内容の協議を行うなど、啓発効果の高いものになるように努めている。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
防犯に係る事務を最小限の人数(1人)で行っているため、人件費部分については変更のしようがない。対象経費についても、防犯パトロール車の経年劣化等があるため現状の予算は必要と考える。また、会費の見直し(増額)も行っているため、市補助金の減額は難しいと考える。					
No.9	課名	自治振興課	補助金名称	別府市連合防災協議会育成助成金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		680	680	0	
最終評価	評価内容				
継続	自主防災の意識を向上させる重要な事業であるため、継続が妥当と考えるが、対象事業費の精査を行い必要最小限の助成をされたい。				
取組内容の進捗状況					
今年度は、防災訓練に2月末までに延4,848人の住民が参加している。補助金使途の約9割が防災訓練に係る経費であり、平成25年度の予算編成において、訓練用経費と通常経費を分け、自主防災活動の防災訓練等に係る経費を明確にした。平成25年度以降については、市の養成した防災士による地域での防災研修等への資器材の貸出等事業や町単位での図上訓練を検討しており、対象事業費の精査に事欠かないようにしている。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
近年、各自主防災会での訓練回数・参加人員が増加し、町内に公園等の広場のない町や人口の少ない町等では、隣接する町と合同で訓練を行うことが多くなってきており、自主防災組織の育成事業に係る訓練規模が大きくなってきている。また、一方で防災士の養成により、町単独で防災研修・防災パトロール等を行う自主防災会等も増えてきていることから、地域の状況に応じた取り組みが必要であるため、引き続き地域防災の充実強化を図る必要がある。					

No.10	課名	観光まちづくり課	補助金名称	別府駅等案内所運営費補助金	
自己評価	縮小	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
			6,000	9,000	▲ 3,000
最終評価	評価内容				
縮小	自主財源の確保や支出内容の見直しなど補助事業者に対して運営の自立を促すとともに、補助金の目的や効果に応じた必要最小限の補助金を積算し、繰越金が発生する場合は補助金の減額あるいは返還を求めるなど適切な執行を図りたい。				
取組内容の進捗状況					
監査指摘事項として、同様の観光案内業務でありながらJR別府駅外国人観光客案内所は本補助金の一部として、国際交流プラザは委託業務として別府市観光協会に委託料が支払われているとの指摘があったため、平成24年度から国際交流プラザ、平成25年度から外国人観光案内業務を市から外国人観光案内所への直接委託に変更して契約を統一することで、事業の性質を見直し補助額の縮小を図った。また、繰越金が発生する場合は、次年度の補助金の減額により適切な執行を図る。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.11	課名	観光まちづくり課	補助金名称	別府市観光協会運営費補助金	
自己評価	改善	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
			24,600	25,100	▲ 500
最終評価	評価内容				
改善	自主財源の確保や支出の効率化など収支構造の改善により補助事業者が自立した組織体制を確立できるよう促すとともに、補助金の目的や効果に応じた必要最小限の補助金額を積算し、繰越金が発生する場合は補助金の減額あるいは返還を求めるなど適切な執行を図りたい。				
取組内容の進捗状況					
更なる自主財源の確保や支出の効率化を補助団体に促すとともに、支出内容の見直しを図り補助額を縮小した。平成25年度から新たに通信販売事業を行い手数料による自主財源の確保を目指す。また、繰越金については、平成24年度補助金の減額により適切な執行を図った。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.12	課名	観光まちづくり課	補助金名称	誘客推進事業費補助金	
自己評価	改善	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
			32,093	33,700	▲ 1,607
最終評価	評価内容				
改善	補助事業者からの事業計画をもとに事業の効果や必要性を検証して、補助効果に見合った必要最小限の補助金額を積算されたい。また事業完了後、余剰金が生じた場合は、返還を求めるなど適切な執行を図りたい。				
取組内容の進捗状況					
国内外の観光宣伝及び誘致活動を実施することを目的としており、市の施策との関わりが強いため、事業の効果や必要性について慎重に協議したうえで、事業内容の見直しを図り、補助額を縮小した。また、繰越金については、平成24年度補助金の減額により適切な執行を図った。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					

No.13	課名	観光まちづくり課	補助金名称	ボランティアガイド育成事業費補助金	
自己評価	改善	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
			591	1,600	▲ 1,009
最終評価	評価内容				
縮小	自主財源の確保を促すとともに支出の効率化や繰越金相当額の減額など必要最低限の補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
平成25年度は、「ボランティアガイド養成講座」の見直しを図り、各地域でガイド養成講座を実施することで、より多くの新規ガイド育成を目指す。 またパンフレット作成等の事業内容の見直しにより補助額を縮小する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.14	課名	観光まちづくり課	補助金名称	別府八湯温泉道事業費補助金	
自己評価	継続	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
			350	550	▲ 200
最終評価	評価内容				
縮小	認定手数料等の自主財源が伸びてきていることから、一層の収支増収を補助事業者に促し、収支の状況を確認しながら、自立に向けて補助額の段階的縮小を図られたい。				
取組内容の進捗状況					
事務局において新規企画やグッズ制作などを進めて収益増加を図るよう計画しており、自主財源の増加が見込めるため補助額を縮小する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.15	課名	観光まちづくり課	補助金名称	別府八湯温泉まつり事業費補助金	
自己評価	継続	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
			14,137	14,137	0
最終評価	評価内容				
改善	別府市を代表するまつりとして定着しているが、数年にわたり補助金額が固定化されている。補助金額の見積もりにあたっては、実効性のある事業計画に基づき、事業の効果と必要性を評価して積算すること。また、支出の効率化により補助金額の縮減を図るとともに、事業費に対する補助であることから、繰越金が発生する場合は補助金の減額あるいは返還を求めるなど適切な執行を図られたい。				
取組内容の進捗状況					
今後も補助を継続する方針であるが、補助額が固定化されているため、補助対象経費の精査を行うとともに、支出の効率化を促し、収支の状況を確認しながら補助額を検討していきたい。また平成26年度の第100回記念開催に向けて、関係団体と企画内容の見直しについて協議する予定である。また、繰越金が発生する場合は、次年度の補助金の減額により適切な執行を図る。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
唯一別府市全域で開催される、本市を代表する祭りであり、現状では予算額の縮小は祭りの存続に影響を及ぼす可能性があるため、繰越金や収支の状況を確認しながら、補助額については慎重に検討したい。					

No.16	課名	観光まちづくり課	補助金名称	べっふ鶴見岳一気登山事業費補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		450	700	▲ 250	
最終評価	評価内容				
継続	参加者の状況や補助の割合から、自己評価のとおり、継続が適当と認めれるが、5年周期の記念大会に向けて繰越していることから、記念大会の開催年度の補助額については精査をされたい。				
取組内容の進捗状況					
記念大会開催年度の補助額については必要最低限度の額となるよう、毎年度の計画的な予算の運用を促す。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.17	課名	観光まちづくり課	補助金名称	千灯明事業費補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		4,300	4,300	0	
最終評価	評価内容				
改善	公園緑地課の事業として開始され、市民交流型とイベントとして定着する一方で、来場者の構成や事業内容から観光客誘致事業としての目的が薄れてきている。今後も事業を継続するのであれば、事業の目的を明確にするとともに、その目的に沿った事業内容や事業所管課を検討されたい。				
取組内容の進捗状況					
観光客誘致事業として、より観光客を集客できる事業内容にするため、他のイベントと連携した新しいイベント内容の見直しを検討している。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
現状では収入に占める補助割合が高く、予算額の縮小は即イベントの存続に関わるため、繰越金や収支の状況を確認しながら、補助額については随時検討したい。					
No.18	課名	観光まちづくり課	補助金名称	別府夏の宵まつり事業費補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		12,000	12,128	▲ 128	
最終評価	評価内容				
改善	別府市を代表するまつりとして定着しているが、数年にわたり補助金額が固定化されている。補助金額の見積もりにあたっては、実効性のある事業計画に基づき、事業の効果と必要性を評価して積算すること。また、支出の効率化により補助金額の縮減を図るとともに、事業費に対する補助であることから、繰越金が発生する場合は補助金の減額あるいは返還を求めるなど適切な執行を図られたい。				
取組内容の進捗状況					
別府の夏を代表する祭りであり、今後も補助を継続する方針であるが、平成25年度は支出内容の見直しを図り、補助金を減額する。また、集客にむけた祭りの改善のため、経済波及効果調査や宿泊を伴う誘客増加に向けての取組を実施する予定である。また、繰越金が発生する場合は、次年度の補助金の減額により適切な執行を図る。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					

No.19	課名	観光まちづくり課	補助金名称	BEPPUダンスフェスタ事業費補助金	
	自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
	縮小		5,900	6,000	▲ 100
	最終評価	評価内容			
	縮小	単独開催から大分県農業祭との同時開催に移行したイベントだが、自己評価で示されているとおり、補助金の目的である観光客誘致へ繋がっていないという現状がある。大分県農業祭と同時開始する意義・効果についても検証が必要であり、開始当初の目的に従った成果が見込まれなければ、廃止を含め補助金のあり方を検討されたい。			
取組内容の進捗状況					
平成24年度から平成25年度にかけて関係団体や参加チームに大会開催に関するアンケートを実施し、今後の事業方針について情報収集を行う予定であり、将来的に事業の縮小・廃止や他のイベントとの合併等を検討したい。また、別府の祭りの中で唯一他都市とのまつり交流が含まれていることもあり、ダンスフェスタの開催を辞めた場合、別府市が現在参加している他都市での観光宣伝等に影響が出る可能性も含め、祭りの在り方を検討したい。平成25年度については、補助を継続する方針であるが、支出内容の見直しにより経費を削減し補助金を減額する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.20	課名	観光まちづくり課	補助金名称	クリスマスHANABIファンタジア事業費補助金	
	自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
	継続		15,000	15,000	0
	最終評価	評価内容			
	改善	別府市を代表するイベントとして定着しているが、ここ数年、補助金額が固定化されている。補助金額の見積もりにあたっては、実効性のある事業計画に基づき、事業の効果と必要性を評価して、評価に応じた補助金額を積算されたい。また、支出の効率化による補助金額の縮減を図るとともに、事業費に対する補助であることから、繰越金が発生する場合は補助金の減額あるいは返還を求めるなど適切な執行を図られたい。			
取組内容の進捗状況					
別府の冬のイベントとして定着しており、今後も補助を継続していく方針であるが、補助額が固定化されているため、補助対象経費の精査を行うとともに、支出の効率化を主催団体に促し、収支の状況を確認しながら補助額を検討したい。また、来年度以降集客に向けたイベント内容改善のため、経済波及効果調査や宿泊を伴う誘客増加に向けての取組を実施する予定である。また、繰越金が発生する場合は、次年度の補助金の減額により適切な執行を図る。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
市内のイベントの中で最も集客を見込めるイベントであり、予算額の縮小は、事業規模の縮小に繋がり、集客のみならず、別府市の活性化にも影響を及ぼすため、繰越金や収支の状況を確認しながら、補助額については慎重に検討したい。					
No.21	課名	観光まちづくり課	補助金名称	油屋熊八翁顕彰会事業費補助金	
	自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
	改善		770	270	500
	最終評価	評価内容			
	改善	補助金の目的は適当と考えるが、毎年、固定した額を支出するのではなく、事業費の見合った必要最小限度の金額とすべきであり、繰越金が発生した場合は返還あるいは補助金の減額を求めるべきである。			
取組内容の進捗状況					
補助額が固定化されているため、補助対象経費の精査を行うとともに、支出の効率化を主催団体に促し、収支の状況を確認しながら補助額を検討したい。繰越金については、平成24年度補助金の減額により適切な執行を図った。また、平成25年度は熊八翁生誕150年にあたり、記念事業を実施するため500千円増額要求している。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					

No.22	課名	観光まちづくり課	補助金名称	べっぴん協業祭事業補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		540	540	0	
最終評価	評価内容				
改善	伝統行事の継承と地域活性化を目的とする助成であり一定の意義は認められるが、数年にわたり補助金額が固定化されている。補助金額の見積りにあたっては、実効性のある事業計画に基づき、事業の効果と必要性を評価して、評価に応じた補助金額を積算されたい。また、支出の効率化による補助金額の縮減を図るとともに、事業費に対する補助であることから、繰越金が発生する場合は補助金の減額あるいは返還を求めるなど適切な執行を図られたい。				
取組内容の進捗状況					
本祭りは別府の伝統行事として広く認識され、イベント性も高く集客力のある祭りであるため、今後も補助を継続していく方針であるが、補助額が固定化されているため、支出の効率化及び自主財源の確保を主催団体に促し、収支の状況を確認しながら補助額を検討していきたい。また、繰越金が発生する場合は、次年度の補助金の減額により適切な執行を図る。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
平成25年度予算については、事業計画に基づき、効果や必要性について検討した結果前年と同額となったが、繰越金や収支の状況を確認しながら、補助額については随時検討したい。					
No.22	課名	観光まちづくり課	補助金名称	海上渡御民藝振興祭補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		180	180	0	
最終評価	評価内容				
改善	伝統行事の継承と地域活性化を目的とする助成であり一定の意義は認められるが、数年にわたり補助金額が固定化されている。補助金額の見積りにあたっては、実効性のある事業計画に基づき、事業の効果と必要性を評価して、評価に応じた補助金額を積算されたい。また、支出の効率化による補助金額の縮減を図るとともに、事業費に対する補助であることから、繰越金が発生する場合は補助金の減額あるいは返還を求めるなど適切な執行を図られたい。				
取組内容の進捗状況					
御輿船に大漁旗をなびかせ海上渡御を行う本祭りは、別府市でも特徴的な祭りの一つであり、別府の伝統行事として広く認識され、観光客の誘致に繋げることを目的としているため、今後も補助を継続していく方針であるが、補助額が固定化されているため、補助対象経費の精査を行うとともに、支出の効率化を促し、収支の状況を確認しながら補助額を検討していきたい。また、繰越金が発生する場合は、次年度の補助金の減額により適切な執行を図る。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
平成25年度予算については、事業計画に基づき、効果や必要性について検討した結果前年と同額となったが、繰越金や収支の状況を確認しながら、補助額については随時検討したい。					
No.22	課名	観光まちづくり課	補助金名称	山の納涼音頭大会事業	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		450	450	0	
最終評価	評価内容				
改善	市が助成する目的、必要性を、現状の事業の内容や参加者の構成などから再度検証するとともに、市と他団体の負担割合の妥当性について検討されたい。				
取組内容の進捗状況					
本祭りは地域の活性化を図るとともに、別府の夏のイベントとして定着しているため、今後も補助を継続していく方針であるが、補助額が固定化されているため、補助対象経費の精査を行うとともに、支出の効率化を主催団体に促し、収支の状況を確認しながら補助額を検討したい。また、繰越金が発生する場合は、次年度の補助金の減額により適切な執行を図る。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
監査指摘事項として、周辺自治会が費用負担していないため、応分の負担を求めるべきとの指摘があったが、負担金相当分を祭り経費として各自治会で独自に支出しているため現状維持となっている。					

No.22	課名	観光まちづくり課	補助金名称	鉄輪温泉湯あみ事業	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		180	180	0	
最終評価	評価内容				
改善	伝統行事の継承と地域活性化を目的とする助成であり一定の意義は認められるが、補助金額については、毎年度、一定額に固定化されている現状を改め、事業費に見合った必要最小限の金額とすべきである。また、繰越金があれば、返還あるいは補助金の減額を求めるとともに、補助対象経費の精査を行い、適切でない経費に対して支出することのないようされたい。				
取組内容の進捗状況					
本祭りは温泉文化を伝える別府の伝統行事として、また別府観光の要である鉄輪地区を盛り上げることで、観光客のさらなる誘致に繋がるため、今後も補助を継続していく方針であるが、補助額が固定化されているため、補助対象経費の精査を行うとともに、支出の効率化を主催団体に促し、収支の状況を確認しながら補助額を検討したい。また、繰越金が発生する場合は、次年度の補助金の減額により適切な執行を図る。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
平成25年度予算については、事業計画に基づき、効果や必要性について検討した結果前年と同額となったが、繰越金や収支の状況を確認しながら、補助額については随時検討したい。					
No.22	課名	観光まちづくり課	補助金名称	別府宵酔女まつり事業補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		1,200	1,500	▲ 300	
最終評価	評価内容				
改善	中心市街地の活性化や観光客誘致が補助目的であるが、継続して助成しているものの、成果実績からは効果が明確に検証できない。今後、このまま市が関与すべきか、団体の自主運営に任せるか、期間を設定して事業の効果を検証のうえ、方針を決定されたい。				
取組内容の進捗状況					
今後の事業展開について、実行委員会と協議し、補助目的である観光客の誘致並びに中心市街地の活性化に対して効果を検証できるよう企画の改善を促した。また、期間を設定して今後の事業成果を検証しつつ、このまま市が関与すべきか、団体の自主運営に任せるか検討したい。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.23	課名	観光まちづくり課	補助金名称	別府市旅館ホテル組合連合会運営費補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
改善		6,900	7,200	▲ 300	
最終評価	評価内容				
改善	自己評価のとおり、補助対象経費を明確にした事業補助への移行を進め、事業目的の達成に必要な最小限の補助金額とされたい。				
取組内容の進捗状況					
市内100以上の旅館ホテルを統括する本組合は、市の観光施策との関わりが強く、市の事務事業を補完する一面もあることから、今後も補助を継続していく方針であるが、組織を維持する運営事業としての補助目的から、補助対象事業を明確にした事業補助への移行を補助団体に促した。また、補助対象経費の精査を行うとともに、支出の効率化を補助団体に促し、収支の状況を確認しながら補助額を検討したい。平成25年度は支出内容の見直しを図り、補助金を減額する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					

No.24	課名	観光まちづくり課	補助金名称	別府リバイバル新婚旅行推進協議会補助金	
自己評価	改善	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
			0	7,000	▲ 7,000
最終評価	評価内容				
廃止(予算化)	旅行商品化によって予約数が増加するなど成果が上がっているが、監査委員の指摘にあるように補助金として予算計上する理由に乏しいため、事業費の精査を行い、市の事業として予算化をさ れたい。				
取組内容の進捗状況					
今後のリバイバル新婚旅行推進協議会の方針として、協議会の解散を行うためH25年度から事業予算化を図り、それに伴い、事業名称を「別府リバイバル旅行」と変更する予定。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.25	課名	観光まちづくり課	補助金名称	泉都別府ツーリズム支援事業費補助金	
自己評価	改善	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
			6,200	5,100	1,100
最終評価	評価内容				
改善	事業の予算化を検討するよう監査委員の指摘があったが、市民のまちづくり活動を支援する提案型補助金として定着しており現状の執行形態が望ましいと考えられる。ただし、自己評価で懸案されている目新しい活動の発掘ができる方策を検討するとともに、他の市民協働施策との連携を図られたい。				
取組内容の進捗状況					
機構改革により、平成25年度から自治振興課に協働やまちづくりの事務を行うための協働推進室を新設し、同室でまちづくりに関する事務に取り組む。 平成25年度は従前の泉都別府ツーリズム支援事業補助金に、新たに行政提案型支援事業を加え、協働推進事業費補助金として事業を実施する予定である。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.26	課名	観光まちづくり課	補助金名称	音泉タウン実行委員会補助金	
自己評価	継続	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
			1,800	2,000	▲ 200
最終評価	評価内容				
縮小	監査委員の指摘にあるとおり、自主財源の確保を図り、所属団体の自立を図られたい。				
取組内容の進捗状況					
今後の音泉タウンの方針として、趣向を変え小規模多数型のイベントから、単発的大規模イベントへと移行させていく方針をとる。イベントの開催において、チケット販売や広告協賛等自主財源の増加に取り組み、市からの補助率の改善を図っていく。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					

No.27	課名	観光まちづくり課	補助金名称	湯けむり健康マラソン大会事業費補助金	
自己評価	改善	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
			2,990	3,120	▲ 130
最終評価	評価内容				
縮小	観光事業としての効果を検証するとともに、自己評価にあるように参加料や広告収入などの自主財源の増収や経費の見直しなどにより事業費の削減を図り、補助割合の引き下げを図られたい。				
取組内容の進捗状況					
平成24年度大会の結果については、現時点で総括中ではあるが、誘客に努めた結果参加選手を各種目合計で前年比約25%増加(H23エントリー数合計1,402人→H24合計1,767人)した。このため自主財源である参加料収入を約20%増加(H23(決算額):2,580,400円からH24(暫定):3,233,600)させることができた。結果として、H24年度の補助割合は前年度約49%から、約46%(決算見込)へ改善し、一定の成果を得ている。次年度は、抜本的対策として、事務局のスポーツ団体移管、及び委託範囲の見直しにより、引き続き市補助割合の漸減に努める。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.28	課名	観光まちづくり課	補助金名称	スポーツ大会等開催補助金	
自己評価	継続	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
			9,800	11,500	▲ 1,700
最終評価	評価内容				
継続	宿泊を伴う合宿等を誘致する助成として、補助金を交付した団体数からすると一定の成果を上げていると考えられるが、監査委員の全般的な指摘にあるよう宿泊者数の実績等、数値的な指標を用いた効果を検証されたい。				
取組内容の進捗状況					
市内で実施された大会・合宿等を取り纏め、別府市観光動態の係数を用いて費用対効果を算出済み。また、市内各スポーツ施設の利用状況を把握し、市民スポーツとのバランスを考慮しつつ、次年度に向け効果的な誘致・補助金の交付を計画している。また誘致計画に基づき、要綱の改正を計画している。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.29	課名	観光まちづくり課	補助金名称	別府市コンベンション振興協議会補助金	
自己評価	継続	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
			12,000	14,000	▲ 2,000
最終評価	評価内容				
改善	制度開始時に比べ運用益が大幅に減少しており、現状の基金財産の運用環境の中で、運用方法や存廃を含めた制度の方向性を検討されたい。				
取組内容の進捗状況					
平成24年度、11月現在までで17件の各種大会等に対して補助金を支出、前年度を上回る支出実績となっている。その波及効果は、525,732,716円で延べ宿泊者も14,876人と大きな効果を上げている。平成25年度より、別府市は特に観光施策に重点的に取り組む計画であり、その中の柱のひとつとして、コンベンションのさらなる振興に取り組む。具体的には、既存事業に対する補助金については、2,000千円減額し、12,000円に、また、新規コンベンション助成事業として、35,334千円を追加計上し、合計47,334千円で重点的に事業を実施したい。今後も積極的にコンベンション振興基金を活用しながら、並行して、基金の在り方について議論し、運用、取り崩し等方向性も含めて調整していく。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					

No.30	課名	温泉課	補助金名称	温泉建設等補助金	
自己評価		予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
継続			5,500	5,500	0
最終評価	評価内容				
継続	今後も耐震化、老朽化に伴う改修が多く見込まれるため、各温泉組合等の需要を正確に把握し、補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
東日本大震災以降、建物の耐震化に対するニーズが高まる中、区営温泉については老朽化が進んでいる施設も多い。利用者が安心して利用できるように、各温泉組合と協議を重ね、的確な補助を考えていきたい。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.31	課名	文化国際課	補助金名称	日韓交流親善ゴルフ大会実行委員会補助金	
自己評価		予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
廃止			0	1,000	▲ 1,000
最終評価	評価内容				
廃止	自己評価のとおり廃止とする。関係団体等と調整し、早期に予算において反映されたい。				
取組内容の進捗状況					
平成24年8月17日付けで日韓交流親善ゴルフ大会実行委員会は解散。(平成24年度予算については、未執行。)その結果、平成25年度から補助金廃止。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.32	課名	文化国際課	補助金名称	市美展補助金	
自己評価		予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
継続			315	315	0
最終評価	評価内容				
改善	自主財源の増収と事業費の見直しにより助成割合を引き下げ、団体の自立を促すとともに、補助対象経費の明確化を図られたい。				
取組内容の進捗状況					
補助対象経費の明確化を図り、補助対象経費の概ね1/3以内を補助額とするようにした。それに伴い、自主財源増収のため、出展者(数)を増やす方を講じるよう補助金の交付先に指導する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
平成25年度については、結果的に補助金額に変わりはないが、今後は自主財源増収のための策を講じるなどの努力により、交付金額の縮減が見込まれる。					

No.33	課名	文化国際課	補助金名称	別府市民交響楽団事業費補助金	
自己評価	改善	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
			2,400	2,790	▲ 390
最終評価	評価内容				
縮小	団体構成員に占める別府市民の割合が20%である現状から、市が助成する妥当性について検証が必要である。また、演奏会後のアンケート結果で入場料が安いと回答する来場者が多数あるなど、金額の見直しによる増収の余地があり、こうした自主財源の確保と事業費の見直しにより助成割合を引き下げ、団体の自主・自立を図りたい。				
取組内容の進捗状況					
平成25年度からの補助金額を15%程度ずつ減額していき、平成28年度以降の補助金は廃止する方向で交付先には伝えている。事務局は、平成25年度から楽団員で運営する。自主財源の確保や事業費の見直しについて今後も指導していきたい。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.34	課名	文化国際課	補助金名称	別府市文化活動育成事業補助金	
自己評価	継続	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
			2,000	3,500	▲ 1,500
最終評価	評価内容				
改善	監査委員の指摘事項を確実に是正するとともに、補助対象者の妥当性や助成の必要性を検討し、予算要求されたい。				
取組内容の進捗状況					
平成24年に補助対象団体、補助金の額及び補助回数に関する部分の要綱の改正を行った（平成24年4月1日施行）。その結果、予算の縮減を図った。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.35	課名	商工課	補助金名称	大分県東部勤労者福祉サービスセンター運営費補助金	
自己評価	継続	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
			8,500	8,500	0
最終評価	評価内容				
継続	補助団体の事業内容や補助対象経費、収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
センターの運営経費は、主に会員収入と母体の3市1町1村による補助金及び同額の国庫補助金を財源としていたが、平成22年度で国の補助金が廃止されたため、厳しい財政状況のなか、人件費等の管理費の削減、実施事業の見直しを行うとともに、会員の確保に努め、経営の健全化及び会員の増を図ってきた。なお、平成25年4月1日から一般財団法人への移行を目指しているため、センター母体の自治体及び関係機関と連携を取りながら、健全な運営の指導に努めたい。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					

No.36	課名	商工課	補助金名称	別府市シルバー人材センター運営費補助金	
自己評価	継続	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
継続			10,000	10,000	0
最終評価	評価内容				
継続	補助団体の事業内容や補助対象経費、収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
平成24年4月から公益社団法人としてスタートしたことに伴い、更なる公益性の高い事業展開に取り組むことが要求されるため、引き続き支援が必要と考える。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.37	課名	商工課	補助金名称	働く者の祭典事業費補助金	
自己評価	継続	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
継続			270	270	0
最終評価	評価内容				
継続	補助団体の事業内容や補助対象経費、収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
事業内容を把握したうえ、補助金のより一層の有効活用を図るため、広域地区の他の自治体と補助金内容を一本化し、各種公益事業を対象としたものにするために平成25年度から「別府杵築速見国東地区労働者福祉協議会補助金」に名称変更することとなった。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.38	課名	商工課	補助金名称	大分県中小企業団体中央会補助金	
自己評価	継続	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
継続			45	45	0
最終評価	評価内容				
継続	補助団体の事業内容や補助対象経費、収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
補助対象経費や収支状況を把握し、的確な補助金交付したい。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					

No.39	課名	商工課	補助金名称	別府商工会議所補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		8,000	8,100	▲ 100	
最終評価	評価内容				
改善	監査委員に指摘されているとおり、補助金を超える繰越金が発生しており、助成する必要性について検討するとともに、補助対象経費や補助割合の根拠等を明確に必要最低限の補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
補助対象経費と補助割合の基準について、商工会議所と協議を重ねた結果、減額とした。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.40	課名	商工課	補助金名称	小規模企業経営改善普及事業費補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		5,400	5,400	0	
最終評価	評価内容				
改善	補助対象経費を把握するとともに、県補助金を参考に補助割合の根拠を明確にして、必要最低限の補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
商工会議所補助金と並行して、県を参考とした補助割合の根拠について協議し基準を設けた。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
協議した基準による補助積算額が旧年度と同額になったが今後の事業経費と県補助金により変動が考えられる。					
No.41	課名	商工課	補助金名称	別府たばこ販売協同組合補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		630	630	0	
最終評価	評価内容				
改善	監査委員の指摘にあるように、補助対象経費や補助金の目的を明確にし、また、積立金の内容を把握し、必要性が説明できなければ廃止を検討されたい。また、他の地方自治体との補助金額の差を解消されたい。				
取組内容の進捗状況					
補助の対象事業は社会貢献活動として、未成年者喫煙防止活動、喫煙マナーの向上及び喫煙美化のための清掃活動を実施しており、対象経費はその事業で使用されている。また、他の地方自治体との差も見受けられないため、今後も引き続き補助対象経費や収支状況を把握し、的確な補助金を交付したい。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
組合店の減少やたばこの大幅値上げにより厳しい収支状況で運営されており、積立金を切崩している。					

No.42	課名	商工課	補助金名称	商店街公共施設部分維持管理費補助金	
自己評価	継続	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
継続			158	159	▲ 1
最終評価	評価内容				
改善	必要性や助成のあり方を再検証し、「べっぷ道路里親制度」などを参考に現物支給など効果的な助成の方法を検討されたい。				
取組内容の進捗状況					
今年度より「別府市商店街活性化事業補助金交付要綱」(商店街共同施設整備事業)の施行により、監査指摘事項であった申請時期と実績報告について指導を行い新運用が開始されている。今後も引き続き補助対象経費や収支状況を把握し、的確な補助金を交付したい。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.43	課名	商工課	補助金名称	経営講演会開催補助金	
自己評価	継続	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
継続			0	360	▲ 360
最終評価	評価内容				
廃止	補助目的や補助金額の根拠等が示されておらず、必要性や妥当性があるか明確ではない。公益性を含め、補助金支出自体の検証が行われていないため、廃止の方向で関係団体と協議のうえ、早期に予算において反映されたい。				
取組内容の進捗状況					
補助の対象について説明し、来年度予算について商工会議所青年部には廃止の旨を伝え、廃止とした。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.44	課名	商工課	補助金名称	伝統的工芸品産業支援事業費補助金	
自己評価	継続	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
継続			276	276	0
最終評価	評価内容				
継続	補助団体の事業内容や補助対象経費、収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
事業内容、収支状況の把握を常時聞き取りを行う体制の確保を行う。 具体的には、後継者育成事業の講師が竹細工伝統産業会館に来るので、聞き取りを行う。決算時には、内容について更なる確認を行っていく。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					

No.45	課名	商工課	補助金名称	別府市ふれあい・ゆー・パーキング事業補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
廃止		2,850	3,468	▲ 618	
最終評価	評価内容				
廃止	自己評価のとおり、廃止とする。ただし、事業を再構築する場合は、来場者数や近隣駐車場の状況調査を行い、適切な実施手法を検討すること。				
取組内容の進捗状況					
<p>廃止とする予定であったが、予定外の平成25年2月末マルシヨク流川店閉店が決まり、近隣の商店街への駐車場利用に対する大きな影響が想定される。</p> <p>また、平成24年10月、6団体による制度延長の要望書が市長に提出され、代表者との協議により1年間の制度延長とした。</p>					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
マルシヨク流川店の閉店は、周辺商店街の駐車場利用客に影響が出ることが懸念されるため、制度を1年延長し商店街との話し合いの場を設けて当該事業に代わるものを検討する。					
No.46	課名	商工課	補助金名称	別府市中心市街地活性化協議会補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		8,300	9,400	▲ 1,100	
最終評価	評価内容				
廃止	中心市街地活性基本計画の終了をもって、これまでの成果を検証したうえで廃止することとし、継続が必要な場合は、検証結果に基づき、新たな事業計画をもとに必要な経費を精査されたい。				
取組内容の進捗状況					
平成24年8月より中心市街地活性化協議会の部会を設けて、基本計画やリノベーション事業(platform)の活用状況の検証を重ね、来年度は2箇所のplatformを廃止とした。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
現在、協議会において基本計画について検証をしており、新年度実施計画提出までに今後の計画を提案する。					
No.47	課名	商工課	補助金名称	別府市中心市街地間口改良等整備事業補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
廃止		0	10,000	▲ 10,000	
最終評価	評価内容				
廃止	自己評価のとおり廃止とする。関係団体等と調整し、早期に予算において反映をされたい。				
取組内容の進捗状況					
間口改良事業は、基本計画終了により廃止となるが、協議会の部会で基本計画の検証をしており、来年度に新たな事業の新設を検討しているが、予算化は平成26年度となる見通し。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					

No.48	課名	商工課	補助金名称	商店街イベント補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		3,500	3,500	0	
最終評価	評価内容				
継続	終期を定めるとともに、終了後の効果の検証を行い、継続の可否を判定されたい。				
取組内容の進捗状況					
今年度より、制定した要綱により施行しているが、現行予算では配分が困難な状況であり、増額の要望も声が上がっている。 平成27年度を終了年度に設定し、最終年度に効果の検証ができるよう関係団体と協議を行う。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.49	課名	商工課	補助金名称	市場祭開催補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		500	500	0	
最終評価	評価内容				
継続	補助団体の事業内容や補助対象経費、収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
補助対象経費や収支状況を把握し、的確な補助金交付したい。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.50	課名	商工課	補助金名称	買受人組合研修費補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		360	360	0	
最終評価	評価内容				
継続	事業内容や、補助団体の収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
事業内容や収支状況を把握し、的確な補助金交付したい。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					

No.51	課名	競輪事業課	補助金名称	周辺対策事業補助金(亀川夏まつり)	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		6,300	6,300	0	
最終評価	評価内容				
改善	事業内容や補助対象経費、補助団体の収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
このまつりは、地域が集う夏まつりとして定着しており、地域活性化の目玉となっている。地域とともに発展してきた別府競輪場としては周辺対策の重要な事業と認識している。今後の動向をみながら、補助規模を縮小することも検討したい。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
現状を踏まえ、安易に規模縮小を行えば、この事業自体の存続に関わる恐れがあるので、慎重に協議したい。					
No.51	課名	競輪事業課	補助金名称	周辺対策事業補助金(鬼の岩屋まつり)	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
縮小		0	300	▲ 300	
最終評価	評価内容				
廃止	鬼の岩屋まつりに対して、教育委員会の会場設営委託料と競輪事業課の周辺対策事業補助金の支出に整合性がないため整理・統合を図り、補助金を支出する合理的理由がなければ廃止されたい。				
取組内容の進捗状況					
このまつりは、地域が集うまつりとして定着しており、地域活性化の事業となっている。地域とともに発展してきた別府競輪場としては周辺対策の重要な事業と認識している。しかしながら、補助金見直し評価結果を踏まえ、平成25年度より廃止と決定した。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.52	課名	農林水産課	補助金名称	別府市農業青年開発グループ活動事業補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		27	27	0	
最終評価	評価内容				
廃止	補助金額が少額で、必要性和補助効果について検証ができていない。廃止について対象団体と協議し、早期に予算において反映をされたい。				
取組内容の進捗状況					
別府市の農地の保全や農業振興のためには後継者の育成は重要な課題となっている。こうした状況の中、新規就農者の確保・育成のため、各種研修会の実施や農業所得向上として先進地視察等は必要と考える。事業内容について、今後も検討を行うが補助金については現状維持としたい。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
農業後継者育成のためには、先進地の農業技術や農業経営を習得することが必要不可欠であり、また、このグループは品目の違う青年農業者の連携や親睦を図るため重要な役割を果たしており、別府市の農地の保全と後継者育成のためには今後も支援を継続する必要がある。					

No.53	課名	農林水産課	補助金名称	別府市園芸組合連合会補助金	
自己評価	継続	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
継続			195	216	▲ 21
最終評価	評価内容				
縮小	団体の自立に向け、会費収入や収益金分配率、研修に対する自己負担金等を見直し補助金額の縮減を検討されたい。				
取組内容の進捗状況					
本団体と会費収入や収益分配率、研修に対する自己負担金等について協議した結果、本団体の目的としている園芸作物の振興に支障をきたさない範囲で補助金を約10% (21,000円) 減額する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.54	課名	農林水産課	補助金名称	保育間伐推進緊急対策事業費補助金	
自己評価	継続	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
継続			345	390	▲ 45
最終評価	評価内容				
継続	県の補助金との整合性を図り、適切に執行されたい。				
取組内容の進捗状況					
県の補助金との整合性を図り、適切に執行する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.55	課名	農林水産課	補助金名称	低コスト簡易作業路緊急整備事業費補助金	
自己評価	継続	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
継続			450	450	0
最終評価	評価内容				
継続	県の補助事業要綱等に従い適切に執行されたい。				
取組内容の進捗状況					
県の補助事業要綱等に従い適切に執行する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.56	課名	農林水産課	補助金名称	森林整備地域活動支援事業費補助金	
自己評価	継続	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
継続			920	960	▲ 40
最終評価	評価内容				
継続	県の補助事業要綱等に従い適切に執行されたい。				
取組内容の進捗状況					
県の補助事業要綱等に従い適切に執行する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					

No.57	課名	農林水産課	補助金名称	別府市市有林監視員会補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
廃止		0	30	▲ 30	
最終評価	評価内容				
廃止	自己評価のとおり廃止とする。関係団体と協議のうえ、早期に予算において反映をされたい。				
取組内容の進捗状況					
相手先との協議により、今年度より補助を廃止する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.58	課名	農林水産課	補助金名称	別府市有害鳥獣被害防止対策事業補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		1,449	1,785	▲ 336	
最終評価	評価内容				
改善	県や関係団体への協力あるいは負担を求め、事業の改善を図られたい。				
取組内容の進捗状況					
県や関係団体へ協力及び負担を求めている。その一つの結果として、今年度、県がサル防護ネット(260m)を設置した。このことによりH24及びH25の予算においても縮小を図ることができた。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.59	課名	農林水産課	補助金名称	大分県水産振興祭開催補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		2,000	2,000	0	
最終評価	評価内容				
改善	使途の明確化、補助金額の妥当性の検証を行い、必要最低限の補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
水産振興祭の開催にあたって別府市以外の自治体に負担金が生じていないため、当該負担金の支出を求めることができないか県と協議中であるが結論には至っておらず、別府市の補助金を減額すると開催運営に支障をきたすため、H25は現状維持とする。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
消費者と漁業者との触れ合いを通じて県産農林水産物の良さや農山漁村の魅力をより深く理解してもらうために地元開催しており、会場設営費等のために補助金を支出している。					

No.60	課名	農林水産課	補助金名称	大分県農林水産祭・大分県農業祭開催補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		5,000	5,400	▲ 400	
最終評価	評価内容				
縮小	多数の来場者があるイベントとして定着しているが、事業終了後に繰越金が毎年発生していることから、事業実施に必要な金額を精査し、縮小されたい。				
取組内容の進捗状況					
事業実施に必要な経費等について県との協議の結果、補助金額を40万円減額する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.61	課名	農林水産課	補助金名称	大分県漁業協同組合別府支部青年部活動補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		25	25	0	
最終評価	評価内容				
廃止	補助金の使途が明確でなく、補助金額が少額であることや繰越金も多いことから、自立した運営が可能と考えられるため、廃止について対象団体と協議のうえ、早期に予算において反映をされたい。				
取組内容の進捗状況					
評価結果を受け、当団体に対して補助対象事業に則して予算を適正に執行するよう指導した。なお、別府市として水産業振興のためには後継者の育成は重要な課題となっており、新規就業者の確保、水産業所得向上として各種研修会や先進地視察等への支援は必要であるため、補助金額については現状維持としたい。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
当団体は、漁業関連の地域行事へ積極的に参加しており、今後も漁業後継者の水産業に対する意識の向上を図るためには水産業振興の一旦を担う市として漁業後継者への補助は必要不可欠である。					
No.62	課名	農林水産課	補助金名称	栽培漁業推進事業費補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		1,500	1,500	0	
最終評価	評価内容				
縮小	監査委員の指摘のとおり、支出項目の精査することで補助金額の縮小を図られたい。				
取組内容の進捗状況					
減価償却費について大分県漁業協同組合が保管している固定資産台帳明細表にて種苗(クルマエビ、マコガレイ、ヒラメ)の放流までに要する設備に係る減価償却費のみを計上しているか確認したところ、設備自体は補助対象として認められるものであったが金額が正確でなかったため、今後は正確な金額を計上するよう指導した。なお、当該設備を取得した年度において取得価格を支出項目に計上していないため、減価償却費を補助対象経費として認めている。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
監査指摘事項の減価償却費以外の支出項目は適正に支出されており、減価償却費については金額が正確でないものの、ほぼ相当額であったため、補助金額については現状維持としたい。					

No.63	課名	農林水産課	補助金名称	漁業振興費補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		76	76	0	
最終評価	評価内容				
改善	事業内容を把握するとともに、補助金額の根拠等を明確にし、補助金の必要性・妥当性を検証されたい。				
取組内容の進捗状況					
収支決算書の記載内容が抽象的であるため、補助対象経費をより把握しやすくするため今後は支出項目ごとにおいてその内訳等を記載するよう指導した。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
漁場の環境保全、組合員の教育研修、隣接漁協との連携強化などを行っており、これらは水産業振興の活性化に欠かせないものであるため、補助対象事業としている。					

平成24年度補助金の見直し結果

生活環境部

No.64	課名	人権同和教育啓発課	補助金名称	全日本同和会県連合会別府支部補助金	
	自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
	縮小		2,634	2,661	▲ 27
	最終評価	評価内容			
	縮小	自己評価のとおり、対象団体と協議し、補助金額の縮小をされたい。			
	取組内容の進捗状況				
	対象団体との協議の結果、2008年度以降については、当分の間、前年度の1%削減。				
	評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等				
No.65	課名	人権同和教育啓発課	補助金名称	部落解放同盟県連合会別府支部補助金	
	自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
	縮小		2,634	2,661	▲ 27
	最終評価	評価内容			
	縮小	自己評価のとおり、対象団体と協議し、補助金額の縮小をされたい。			
	取組内容の進捗状況				
	対象団体との協議の結果、2008年度以降については、当分の間、前年度の1%削減。				
	評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等				
No.66	課名	人権同和教育啓発課	補助金名称	別府市人権問題啓発推進協議会補助金	
	自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
	継続		3,650	3,650	0
	最終評価	評価内容			
	改善	他の自治体の状況などを調査のうえ適切に対応するとともに、補助団体の収支状況等を把握のうえ、必要最低限の補助金額を積算されたい。			
	取組内容の進捗状況				
	県下の他自治体を調査した結果、一般会計で予算化しているところはなく、補助金・交付金・負担金で対応している状況である。予算執行については、事業目的に従い、適切な運営を図っている。				
	評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等				
	人権教育・啓発事業は、緊急的に、対応しなければならない部分があるため、他都市についても一般会計ではなく、補助金等で対応している。				
No.67	課名	人権同和教育啓発課	補助金名称	大分人権擁護委員協議会補助金	
	自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
	継続		260	260	0
	最終評価	評価内容			
	継続	事業内容や補助対象経費、補助団体の収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。			
	取組内容の進捗状況				
	法務局の要請により、県下市町村補助金が統一されているため、現状を維持する。				
	評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等				

平成24年度補助金の見直し結果

生活環境部

No.68	課名	人権同和教育啓発課	補助金名称	別府市人権・同和教育研究会補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		850	850	0	
最終評価	評価内容				
継続	事業内容や補助対象経費、補助団体の収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
総会資料及び随時の報告等において、事業内容及び収支決算状況について適正に執行されていると認めるため、現状を維持する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.69	課名	環境課	補助金名称	別府市生ごみ処理器購入費補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		500	1,000	▲ 500	
最終評価	評価内容				
廃止	自己評価のとおり、申請件数が年々減少している現状を踏まえ、他の生ごみ減量施策への展開を図り、廃止を検討されたい。				
取組内容の進捗状況					
現行の生ごみ処理器購入費補助金は、生ごみ減量の唯一の施策であるが、生ごみの現状等を把握するため、市民にアンケートを実施し、それに合わせて生ごみ処理器購入費補助金を受けた市民にもアンケートを実施。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
減量効果及び申請件数、アンケート結果等を総合的に勘案した結果、平成26年度に廃止することになった。ただし、新たな生ごみ減量の施策等を平成26年から実施する方向で検討中。					
No.70	課名	環境課	補助金名称	別府市美しいまちづくり奨励事業補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		1,200	1,200	0	
最終評価	評価内容				
継続	自己評価とおり、補助金の目的は妥当と考えられるが、各年度の決算額に増減額あり、予算に過不足が生じていることから、補助対象団体等の需要を的確に把握し補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
予算の過不足を解消するためには、各自治会に必要事業費の調査を行う必要があるが、市の次年度予算編成時期に合わせ、自治会の次年度事業費を把握することは難しいと考えられるため、当面は現状のように一定の補助金額を確保し、申請自治会数及び申請額の大幅な減少が続いた際には予算額の減額を行う。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
各自治会に次年度事業費の照会を行った場合、申請予定額を計上しておかなければ補助金が交付されなくなるため、申請自治会数の増加が見込まれ、現在の補助金額では不足する恐れがある。また、実際の申請額との差が生じ、不用額の増加が懸念される。年度中に予定外の事業が必要となっても申請することができず、自治会にとって活用しづらい補助金となり、補助金の目的を果たせなくなるのが懸念される。					

No.71	課名	環境課	補助金名称	別府市有価物回収奨励事業補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		2,160	2,160	0	
最終評価	評価内容				
継続	自己評価とおり、補助金の目的は妥当と考えられるが、地域別の回収率に差があることから、実施体制を検討されたい。				
取組内容の進捗状況					
地域別の回収率に見られる偏在性や固定化の問題緩和については、周知等による登録団体の拡充を図りながら回収量の偏在を緩和し、有効性及び効率性の向上を目指す。 登録団体へのアンケート調査を今年度中に実施する方向で協議しており、さらに登録団体数を増やすための方策として広報活動を行う。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
アンケート調査を基に登録団体への資源等に関する出前講座などを実施したいと考えており、それによる地域コミュニティの活性化及びリサイクルの啓発を促進する。					

No.72	課名	社会福祉課	補助金名称	社会福祉協議会補助金	
自己評価	継続	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
継続			14,122	14,695	▲ 573
最終評価	評価内容				
継続	補助金の見積もりにあたっては、補助団体の収支状況や対象経費を的確に把握し、金額の積算をされたい。				
取組内容の進捗状況					
補助団体の収支状況や対象経費を精査し、補助金額の積算を実施する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.73	課名	社会福祉課	補助金名称	北部コミュニティセンター運営費補助金	
自己評価	継続	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
継続			12,771	12,946	▲ 175
最終評価	評価内容				
継続	施設を運営するうえで、補助金の支出は適当であると考えられるが、補助対象経費を的確に把握のうえ、超過が生じた場合の返還など、必要最小限の補助金額を支出するよう努められたい。				
取組内容の進捗状況					
補助対象経費を的確に把握し、超過が生じた場合の返還など必要最小限の補助金額を支出する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.74	課名	社会福祉課	補助金名称	別府区保護司会補助金	
自己評価	継続	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
継続			95	95	0
最終評価	評価内容				
継続	繰越金の使途を明らかにするとともに、繰越がある場合は補助金を一時中止するよう補助団体と調整されたい。				
取組内容の進捗状況					
事業内容や補助対象経費、補助団体の収支状況等を的確に把握し、必要最小限の補助金額を支出する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.75	課名	社会福祉課	補助金名称	大分県原爆被害者団体協議会補助金	
自己評価	継続	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
継続			63	63	0
最終評価	評価内容				
継続	事業内容や補助対象経費、補助団体の収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
事業内容や補助対象経費、補助団体の収支状況等を的確に把握し、必要最小限の補助金額を支出する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					

平成24年度補助金の見直し結果

福祉保健部

No.76	課名	障害福祉課	補助金名称	別府市身体障害者福祉団体協議会運営費補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		1,135	1,035	100	
最終評価	評価内容				
改善	補助団体の自立に向け、他自治体等を調査のうえ、会費収入など自主財源の増収を図るよう促すとともに、事業内容や補助対象経費、収支状況等を的確に把握し、必要最小限の補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
No.77とNo.78の補助金と本補助金とを統合し、平成25年度から平成27年度までにかけて、段階的に減額する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.77	課名	障害福祉課	補助金名称	日本身体障害者福祉大会参加補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		0	95	▲ 95	
最終評価	評価内容				
廃止	補助金の目的及び支出先が「別府市身体障害者福祉団体協議会運営費補助金」と同一であり、同運営費補助金の会計で経理されていることから、別の補助金として支出する理由はなく、廃止し運営費補助金の範囲内で補助目的を果たすよう努められたい。				
取組内容の進捗状況					
平成25年度から廃止する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.78	課名	障害福祉課	補助金名称	九州身体障害者福祉大会参加補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		0	50	▲ 50	
最終評価	評価内容				
廃止	補助金の目的及び支出先が「別府市身体障害者福祉団体協議会運営費補助金」と同一であり、同運営費補助金の会計で経理されていることから、別の補助金として支出する理由はなく、廃止し、運営費補助金の範囲内で補助目的を果たすよう努められたい。				
取組内容の進捗状況					
平成25年度から廃止する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.79	課名	障害福祉課	補助金名称	別府市身体障害者(児)福祉バス等借上事業補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		1,000	1,000	0	
最終評価	評価内容				
継続	自己評価のとおり、障がい者の社会参加の促進に係る補助事業のため、補助金の支出は適当と考えられるが、補助金額の妥当性や効果等を検証するため事業内容等を的確に把握するよう努められたい。				
取組内容の進捗状況					
平成25年度から補助の効果及び補助金額の妥当性を検証するため、事業内容等の把握に努める。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					

平成24年度補助金の見直し結果

福祉保健部

No.80	課名	児童家庭課	補助金名称	地域組織(母親クラブ)活動費補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		120	360	▲ 240	
最終評価	評価内容				
継続	自己評価のとおり、補助事業として継続すべきと考えられるが、補助団体の収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
収支状況の的確な把握に努め、補助金の内容に即した執行をしているか確認し、必要最小限な補助執行をする。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.81	課名	児童家庭課	補助金名称	別府市母子寡婦福祉会補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		76	76	0	
最終評価	評価内容				
継続	母子寡婦家庭等の自立活動において、妥当と判断するが、対象事業費や補助団体の収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
収支状況の的確な把握に努め、補助金の内容に即した執行をしているか確認し、必要最小限な補助執行をする。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.82	課名	児童家庭課	補助金名称	別府市保育会補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		0	76	▲ 76	
最終評価	評価内容				
廃止	監査委員の指摘のとおり、少額補助でさらに補助金を超える繰越金があり、補助する必要性が乏しいため、廃止について対象団体と協議し、早期に予算において実現されたい。				
取組内容の進捗状況					
平成25年から廃止する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.83	課名	児童家庭課	補助金名称	別府市保育所地域活動事業補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		2,400	2,500	▲ 100	
最終評価	評価内容				
継続	子どもを取り巻く環境整備の一環として、妥当と判断するが、対象事業費や補助団体の収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
収支状況の的確な把握に努め、補助金の内容に即した執行をしているか確認し、必要最小限な補助執行をする。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					

No.84	課名	高齢者福祉課	補助金名称	別府市単位老人クラブ補助金	
	自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
	継続		4,293	4,068	225
	最終評価	評価内容			
	改善	単位老人クラブの活性化が明るい長寿社会の実現のいったんを担っていると考えることから、補助金の継続が必要と考えられるが、対象事業費や補助団体の収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。			
取組内容の進捗状況					
各単位老人クラブの事業内容、活動内容等の把握、また全体のクラブ数、クラブ会員数により補助金額決定のうえ、各単位老人クラブに補助金を交付する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
単位老人クラブの活動は、高齢者の生きがいがづくり、健康づくり、ボランティア活動等地域を豊かにすることが主な目的であり、さらに介護予防の観点からも重要な施策であると考えられるため。					
No.85	課名	高齢者福祉課	補助金名称	別府市在宅高齢者住宅改造助成金	
	自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
	継続		5,200	5,200	0
	最終評価	評価内容			
	継続	自己評価のとおり、補助事業として継続すべきと認められるが、対象事業費の収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。			
取組内容の進捗状況					
助成対象者の条件(介護保険要支援・要介護認定者・自立)により、助成金額が異なるため、的確な積算が難しい面もあるが、過去5年間の申請件数や、給付実績により積算している。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.86	課名	高齢者福祉課	補助金名称	別府市老人クラブ連合会事業費補助金	
	自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
	継続		500	500	0
	最終評価	評価内容			
	改善	単位老人クラブの加入数の増加をするように、補助に頼らない独自財源の確保に努め、老人クラブ本来の役割を果たすよう図られたい。			
取組内容の進捗状況					
(社)別府市老人クラブ連合会への単位老人クラブの加入数増加等に向け、市老連と定期的に意見交換会を行い、魅力ある市老連の実現に向け支援する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
この補助金により、別府市老人クラブ連合会が主催する福祉大会や芸能文化祭等、高齢者の活動の場が提供されていることから、高齢者の生きがいと健康づくりを推進されていると考えられるため。					

平成24年度補助金の見直し結果

福祉保健部

No.87	課名	高齢者福祉課	補助金名称	別府市老人クラブ連合会活動費補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		2,480	2,745	▲ 265	
最終評価	評価内容				
改善	単位老人クラブの加入数の増加をするように、補助に頼らない独自財源の確保に努め、老人クラブ本来の役割を果たすよう図られたい。				
取組内容の進捗状況					
友愛訪問活動や認知症予防のためのスポーツ大会や、ウォーキングなどの健康づくり支援事業等の更なる充実を図るよう、(社)別府市老人クラブ連合会との協議を重ねている。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
一人暮らしの高齢者や孤独死が増える中、別府市老人クラブ連合会が行う友愛訪問活動や健康づくり支援事業等の必要性が求められており、引き続き活動の支援を行うことが重要であると考えられるため。					
No.88	課名	健康づくり推進課	補助金名称	別府食品衛生協会運営費補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		180	180	0	
最終評価	評価内容				
改善	支出する目的から負担金とも考えられるため、補助金としての支出が適当か再考し、補助金とする場合は事業費補助として対象経費の明確化を図られたい。				
取組内容の進捗状況					
評価結果を踏まえ、内部で協議した結果、平成25年度は負担金として計上した。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.89	課名	健康づくり推進課	補助金名称	別府市医師会看護師養成補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		0	225	▲ 225	
最終評価	評価内容				
廃止	地域保健医療の重要性は認めるが、本補助金の看護師養成事業については、各医療機関等が自主的に行うべき事業であり、補助する必要性に乏しいため、廃止に向け、対象団体と協議のうえ早期に予算において反映をされたい。				
取組内容の進捗状況					
評価結果を踏まえ、内部及び補助団体と協議した結果、平成25年度から廃止する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.90	課名	健康づくり推進課	補助金名称	別府地域保健委員会補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		850	850	0	
最終評価	評価内容				
継続	本事業の必要性について認められるが、本委員会の予算が本補助金のみで運用されていることから、予算化に向け、事業費等を精査されたい。				
取組内容の進捗状況					
県下各市の状況を踏まえ、効率かつ効果的な委員会運営の体制について協議検討を行う。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
各専門委員会で検討された医療・保健に関する取り組みについては、当該年度に調査研究する必要性もあるため、県及び各市が設置運営している委員会と合わせ、委員会予算での運営体制が望ましい。					

平成24年度補助金の見直し結果

建設部

No.91	課名	建築指導課	補助金名称	木造住宅耐震診断補助金	
自己評価	継続	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
継続			600	750	▲ 150
最終評価	評価内容				
継続	自己評価のとおり、事業継続の必要性は認めるが、不用額が発生していることから、需要を的確に把握し、適切な補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
平成24年度は不用額が出たことから、平成25年度より5件減らし20件に縮小する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.92	課名	建築指導課	補助金名称	木造住宅耐震改修補助金	
自己評価	継続	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
継続			9,000	6,000	3,000
最終評価	評価内容				
継続	自己評価のとおり、事業継続の必要性は認めるが、不用額が発生していることから、需要を的確に把握し、適切な補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
平成23年度は12件、平成24年度は10件とも予定件数に達していることから、平成25年度は5件増やし15件分に増額する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
東日本大震災後、耐震改修に対しての市民ニーズが高く、地震時における住宅の被害を軽減し、市民の生命や財産を守り地震に強いまちづくりを進めるためにも実施していきたい。					

平成24年度補助金の見直し結果

教育委員会

No.93	課名	教育総務課	補助金名称	私立高等学校振興助成金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		1,000	1,000	0	
最終評価	評価内容				
継続	自己評価のとおり、補助の継続は妥当と認められるが、適正な執行に向け、補助実績報告の方法について見直しを図られたい。				
取組内容の進捗状況					
統一した収支清算書様式を作成し、補助金決定通知時において各施設に周知・徹底することにより、実績報告時に精査を行う。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.94	課名	教育総務課	補助金名称	私立幼稚園運営費補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		1,000	1,000	0	
最終評価	評価内容				
継続	自己評価のとおり、補助の継続は妥当と認められるが、適正な執行に向け、補助実績報告の方法について見直しを図られたい。				
取組内容の進捗状況					
統一した収支清算書様式を作成し、補助金決定通知時において各施設に周知・徹底することにより、実績報告時に精査を行う。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.95	課名	学校教育課	補助金名称	別府市青少年育成市民会議校区育成協議会推進事業補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		440	440	0	
最終評価	評価内容				
継続	自己評価のとおり、補助の継続は妥当と認めらるが、補助対象事業費を的確に把握し、必要最低限の補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
事業は継続するが、補助対象事業費を的確に把握し、適正執行に努める。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					

平成24年度補助金の見直し結果

教育委員会

No.96	課名	学校教育課	補助金名称	特色ある学校づくり推進事業補助金	
自己評価	改善	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
			0	1,000	▲ 1,000
最終評価	評価内容				
廃止(予算化)	研究事業への補助金は廃止し、必要な経費を精査したうえで予算化することとし、地域教育力活性化事業と整理・統合を図られたい。				
取組内容の進捗状況					
補助金を廃止し、必要な経費を精査した上で平成25年度予算に計上した。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.97	課名	学校教育課	補助金名称	私立幼稚園就園奨励費補助金	
自己評価	継続	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
			69,763	66,174	3,589
最終評価	評価内容				
継続	国の基準に沿って補助しており、自己評価のとおり継続を妥当とするが、国に対し超過負担の解消を訴えていくこととされたい。				
取組内容の進捗状況					
国の基準に沿った補助事業を実施しており、保護者の負担を軽減し、私立幼稚園への就園を奨励するため今後も事業は継続する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.98	課名	学校教育課	補助金名称	教育実践研究発表事業補助金(小学校)	
自己評価	継続	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
			0	600	▲ 600
最終評価	評価内容				
廃止(予算化)	研究事業への補助金は廃止し、必要な経費を精査したうえで予算化することとし、類似する事業との整理・統合を図られたい。				
取組内容の進捗状況					
補助金を廃止し、必要な経費を精査した上で平成25年度予算に計上した。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					

平成24年度補助金の見直し結果

教育委員会

No.99	課名	学校教育課	補助金名称	教育実践研究発表事業補助金(中学校)	
自己評価	継続	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
継続			0	300	▲ 300
最終評価	評価内容				
廃止(予算化)	研究事業への補助金は廃止し、必要な経費を精査したうえで予算化することとし、類似する事業との整理・統合を図られたい。				
取組内容の進捗状況					
補助金を廃止し、必要な経費を精査した上で平成25年度予算に計上した。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.100	課名	学校教育課	補助金名称	教育実践研究発表事業補助金(幼稚園)	
自己評価	継続	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
継続			0	240	▲ 240
最終評価	評価内容				
廃止(予算化)	研究事業への補助金は廃止し、必要な経費を精査したうえで予算化することとし、類似する事業との整理・統合を図られたい。				
取組内容の進捗状況					
補助金を廃止し、必要な経費を精査した上で平成25年度予算に計上した。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.101	課名	学校教育課	補助金名称	遠距離通学児童生徒通学費補助事業補助金(小学校)	
自己評価	継続	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)
継続			353	414	▲ 61
最終評価	評価内容				
継続	自己評価のとおり、補助の継続は妥当と認められるが、補助対象経費を的確に把握し、補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
補助対象経費を的確に把握し、適正に執行している。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					

平成24年度補助金の見直し結果

教育委員会

No.102	課名	学校教育課	補助金名称	遠距離通学児童生徒通学費補助事業補助金(中学校)	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		404	311	93	
最終評価	評価内容				
継続	自己評価のとおり、補助の継続は妥当と認められるが、補助対象経費を的確に把握し、補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
補助対象経費を的確に把握し、適正に執行している。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.103	課名	生涯学習課	補助金名称	町内公民館事業補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
改善		2,244	2,244	0	
最終評価	評価内容				
廃止	自己評価にあるとおり、補助の目的である各町内公民館での生涯学習事業の実施は困難であるとみられることや、補助金の使途が明確でなく大部分の町内公民館で多額の繰越金を保有している状況であることから、廃止について対象団体と協議のうえ、早期に予算において反映されたい。				
取組内容の進捗状況					
町内公民館連合会会長以下、各役員には趣旨説明を行った。引続き役員会レベルでの協議を継続する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
136町に対して給付しており、各々自治会の運営事情が異なるため、慎重な対応が必要。補助金の一本化など妥協策を持って協議に臨み、理解を得る必要があると考えている。					
No.104	課名	生涯学習課	補助金名称	町内公民館連合会事業補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
改善		30	30	0	
最終評価	評価内容				
廃止	自己評価にあるとおり、自治会活動と公民館活動の差別化ができておらず、補助額も少額であることから廃止を検討されたい。				
取組内容の進捗状況					
町内公民館連合会会長以下、各役員には趣旨説明を行った。引続き役員会レベルでの協議を継続する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
町内公民館活動の活性化を図るために町内公民館事業補助金とセットで協議していく必要がある。					

平成24年度補助金の見直し結果

教育委員会

No.105	課名	生涯学習課	補助金名称	町内公民館建設等補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		1,885	3,290	▲ 1,405	
最終評価	評価内容				
継続	自己評価のとおり、事業継続の必要性は認めるが、需要を的確に把握し、適切な補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
毎年度アンケート調査を継続して実施し、自治会等の状況等聞き取り調査をする中で、事業の正確な実施年度の把握に努めるとともに、工事内容を十分検査し適切な補助金の支給に努める。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.106	課名	生涯学習課	補助金名称	東山地区公民館事業補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
改善		116	76	40	
最終評価	評価内容				
改善	自己評価のとおり、補助事業として継続すべきと考えられるが、補助の対象となる業務内容やその程度などを的確に把握のうえ、適切な補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
東山地区公民館運営委員会の運営状況等聞き取り調査を行った。 東山地区公民館関係の経費のうち、補助金として支出するものが適当であると判断した経費について、本年度から補助金として一本化した。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.107	課名	生涯学習課	補助金名称	別府市子ども会育成会連合会事業補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		180	180	0	
最終評価	評価内容				
改善	自己評価のとおり、事業の継続は適当と認めるが、補助金を超える繰越金が発生しており、補助金額の縮小により必要最低限の金額の積算をするよう精査されたい。				
取組内容の進捗状況					
連合会と協議し平成24年度の決算見込みを徴した結果、繰越金額の見込みが補助金額を下回ったため、前年同額とした。本決算で繰越金が補助金額を上回った場合、執行の際調整する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
現在は補助対象に運営費も含まれているため、平成26年度以降事業費補助へ変更する。					

平成24年度補助金の見直し結果

教育委員会

No.108	課名	生涯学習課	補助金名称	別府市PTA連合会事業補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		360	360	0	
最終評価	評価内容				
改善	自己評価のとおり、事業の継続は適当と認めるが、補助金を超える繰越金が発生しており、補助金額の縮小により必要最低限の金額の積算をするよう精査されたい。				
取組内容の進捗状況					
連合会と協議し平成24年度の決算見込みを徴した結果、繰越金額の見込みが補助金額を下回ったため、前年同額とした。本決算で繰越金が補助金額を上回った場合、執行の際調整する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
現在は補助対象に運営費も含まれているため、平成26年度以降事業費補助へ変更する。					
No.109	課名	生涯学習課	補助金名称	別府市地域婦人団体連合会事業補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		135	135	0	
最終評価	評価内容				
継続	自己評価のとおり、補助の継続は妥当と認められるが、対象団体の自立に向け、会費収入等の自主財源の増収を図られたい。				
取組内容の進捗状況					
県の状況調査を実施した。必要に応じて連合会と協議の場を設け、補助金の性質等理解を求める。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.110	課名	生涯学習課	補助金名称	生涯学習フェスティバル開催補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
廃止		0	700	▲ 700	
最終評価	評価内容				
廃止(予算化)	自己評価のとおり補助金は廃止し、必要な経費を精査したうえで予算化されたい。				
取組内容の進捗状況					
適切な科目に組替え、平成25年度予算に計上した。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					

平成24年度補助金の見直し結果

教育委員会

No.111	課名	スポーツ健康課	補助金名称	スポーツ推進委員協議会補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		107	297	▲ 190	
最終評価	評価内容				
改善	補助対象経費と積算の根拠を明確にし、補助内容の見直しや協議会の活動成果を検証し、補助金額の精査をされたい。				
取組内容の進捗状況					
当初補助金額に含まれていたスポーツ推進委員の損害保険料、大分県スポーツ推進委員協議会負担金、別府地区スポーツ推進委員協議会負担金を市費より支出することにより、補助金額の見直しを行った。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.112	課名	スポーツ健康課	補助金名称	別府市学校保健会補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		210	210	0	
最終評価	評価内容				
継続	補助対象経費と積算の根拠を明確にし、補助金額の精査をされたい。				
取組内容の進捗状況					
会議、各種研究大会、歯の衛生週間にイベントを開催、各学校の給食調査、プール水質検査、照明調理科薬品調査、飲料水調査等の経費が適正か精査した。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.113	課名	スポーツ健康課	補助金名称	別府市中学校体育連盟補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		6,949	7,017	▲ 68	
最終評価	評価内容				
改善	自己評価のとおり、余剰金は精算するなど補助金額の精査をされたい。				
取組内容の進捗状況					
運営費・大会出場費を含め補助金を支出していたが、平成24年度以降別々に補助金を出すようにし、大会出場費補助金に余りが出た場合は、精算時に返還して貰うようにした。今後とも補助金の精査や事後の精算をきちんと行うことにより、補助金の適正執行に努める。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					

平成24年度補助金の見直し結果

教育委員会

No.114	課名	スポーツ健康課	補助金名称	別府市体育協会補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		5,255	5,355	▲ 100	
最終評価	評価内容				
改善	補助対象経費と積算の根拠を明確にし、補助内容の見直しや対象団体の活動成果を検証し、補助金額の精査をされたい。				
取組内容の進捗状況					
補助金対象経費の見直しを行い、補助要求額を減額した。今後とも補助金の適正執行に努める。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.115	課名	スポーツ健康課	補助金名称	県民体育大会出場費補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		6,900	6,100	800	
最終評価	評価内容				
継続	競技力の向上によるスポーツの振興を目的とする補助金の目的は適当と認められるが、多額の不用額が発生する年度もあり、事業計画の精査を行い、適正な補助金額の積算をされたい。				
取組内容の進捗状況					
本補助金は大会開催場所が毎年変わるため、補助金額の見直しを毎年行っている。勝敗に応じて多額の不用額が生じる場合があり、大会終了後精算を行っている。今後とも補助金の適正執行に努める。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.116	課名	スポーツ健康課	補助金名称	別府市地区体育協会連合会運営事業補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		2,485	2,735	▲ 250	
最終評価	評価内容				
改善	補助対象経費と積算の根拠を明確にし、補助内容の見直しや対象団体の活動成果を検証し、補助金額の精査をされたい。				
取組内容の進捗状況					
当初補助金額に含まれていた市民交流スポーツ大会の補助金額を落とし、補助金額の見直しを行った。昨年度までは各地区に支出している補助金報告書の精査が行われていなかったため、今年度終了後に各地区より補助額の決算書を提出させ、金額の妥当性を精査する。また、補助金未執行の地区には戻入を含め検討する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					

平成24年度補助金の見直し結果

教育委員会

No.117	課名	スポーツ健康課	補助金名称	別府市スポーツ振興奨励金		
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)		
継続		4,500	4,500	0		
最終評価	評価内容					
継続	見直し後の交付基準について予算査定にて妥当性を検証する。					
取組内容の進捗状況						
奨励金の支給額が平成23年度、24年度とも当初予算額を大幅に上回ったため、平成25年度以降、奨励金交付要綱の見直しを含めて協議する。						
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等						
No.118	課名	スポーツ健康課	補助金名称	総合型地域スポーツクラブ事業補助金		
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)		
継続		5,728	5,848	▲ 120		
最終評価	評価内容					
継続	toto補助金の終了を補助金の終期として継続することとし、その間、対象団体が自立した運営ができるよう会費の増収や他団体からの協賛金・委託金など自主財源の確保を促されたい。					
取組内容の進捗状況						
西地区はtoto補助金の終了で市補助金も終期であるが、引き続きクラブを継続するために、会費収入・他団体からの協賛金・委託金で自主財源確保するように指導している。補助金の終期で総合型スポーツクラブが解散しないように、他のクラブにも自主財源確保を指導する。						
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等						
No.119	課名	別府商業高等学校	補助金名称	各種大会出場費補助金		
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)		
継続		1,100	1,215	▲ 115		
最終評価	評価内容					
縮小	事業費に対する補助であるが、繰越金が発生しており、減額あるいは返還させるなど、必要最小限の補助金額を積算されたい。					
取組内容の進捗状況						
平成25年度については、見直しにより減額を行う。平成26年度以降については、県立移管に伴う生徒数の減少による大幅な収入減が見込まれるため、年間収支計画に基づき補助金額の見直しを行いたい。						
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等						

平成24年度補助金の見直し結果

消防本部

No.120	課名	消防本部	補助金名称	婦人防火クラブ活動事業費補助金	
自己評価	予算額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	増減額(千円)	
継続		108	108	0	
最終評価	評価内容				
継続	<p>今後の事業活動も再考すべきところはあるものの、市民の防火意識を向上させる重要な事業であり、自己評価は適当であると認められるが、対象事業費や補助団体の収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。</p>				
取組内容の進捗状況					
<p>幼年、少年消防クラブは幼少期からの火の取扱い、防火意識の育成、婦人クラブは家庭における防火防災意識の高揚及び火気の管理による出火の防止を図るためにつぎの事業を推進する。 幼年、少年消防クラブのクラブ数及びクラブ員数の増加を図るため、他の地域にも結成を呼び掛けている。 婦人クラブも同様にクラブ員数の増加を図り、火災予防の啓発活動へ参加していただくことにより、防火防災意識を家庭から広く市民に浸透させる。</p>					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					